

訂正版

発行
平成28年
3月31日
復刊 第80号



発 行 者
長野県下伊那農業高校
同 窓 会
TEL(22)5550
FAX(53)0339
編集・発行
同 窓 会 幹 事 会
印刷 龍 共 印刷

創立百周年記念事業へ(歴史と伝統の継承)

同窓会長 岩崎和男(高9回卒)



も二〇〇名を超えるこの地域で最大のコンペを盛大に実施をされ、会員同志の親睦を深めると同時に、チャリティー金も母校に寄付をする事ができました。

又、女子の卒業生で組織されており同窓会の組織であります稲穂会員も多くの参加者の元、充実した事業で親睦を深めながら発展を続けておりまして御同慶に存ずる処であります。

又、同窓会で運営をしております一般財団法人稲丘会も、新組織に成り一年が経過致しましたが、理事の皆様御協力で適正な運営がなされております事もご報告申し上げます。同窓会運営細部につきましては幹事長の会務報告をもってご理解下さい。

尚、この同窓会報も八〇号になり、多くの方の寄稿により充実した会報となりました。各支部を通じまして会員皆様に配布のお願いを致しておりますが、各支部長さん方の御努力をお願いし、更なる支部活動を充実される中、一人でも多くの会員に配布されます様お願いを致す処であります。東京支会に於かれましても新

体制の元、活発な活動に取り組まれ大きな期待をしている処でございます。

さて、母校の生徒達の今年度の活躍もすばらしいものがありました。新聞紙上に於いて生徒達の学習の様子、活動、大会等の記事が掲載されますが、特に全国農業クラブ大会の活躍等はすばらし

ご挨拶

学校長 遠山善治(高26回卒)



同窓会員の皆様には、母校に對しまして、ご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

先日、シクラメンの販売実習を終えた二人の女子生徒がこんな話をしてくれました。「市内でシクラメンを販売していたところ、私も下農の卒業生と言って声をかけてくれた。販売実習が懐かしいといいなが、三鉢購入してくれてびっくりに。帰りに頑張つてと言わ

いものがあります。校歌の一節にもあります「農は、我らの命かな」の精神が生かされておりました、頼もしさを感じると共に、母校の誇りと思い、同窓会と致しましても御支援をして参りたいと思っております。

稲丘祭におかれましても実情に合ったイベントであり、地域の多くの人達が参加をされるのを見ますと、正に地域に根差した高校であると思えます。さて、創立百周年も平成

れてとっても嬉しかった。」と笑顔で報告がありました。地域の同窓生に支えられていることを強く感じ、生徒と同様に嬉しい気持ちになりました。

本校では、販売実習をはじめ、先進農家視察、企業研修、空き店舗活用、花壇づくり、企業との商品開発等々、校外での様々な学習をおこなっております。生徒は地域の人たちとの交流を通して、地域の農業や文化、人を学ぶとともに、多くの人たちからの励ましで、今農業を学んでいることに夢と希望、自信と誇りを抱いているものと思えます。

どんなに時代が変わろう

三十二年、約四年後に来ます。下農の歴史と伝統を引き継ぎ更なる発展を期する為、記念事業の実施を致します。第二回の実行委員会も終わり、具体的に今年度は取り組んで参ります。大きな節目の事業であり、多額な予算も必要となります。支会長さんを通じてお願いが多くなるかと思えますが、今後共、同窓生の皆様方には御理解と御協力を賜りますと同時に、会員各位の御健勝と御発展を御祈念申し上げます。御挨拶と致します。

とも農業は私たちの生活を支える命です。この地域は、三遠南信自動車道の整備、リニア中央新幹線の開通で、生活環境は大きく変わります。交通網が整備されても、この地域の雄大な自然を守り、産業としての農業、特色ある農産物、食文化などの地域資源を有効に活用する学習を大切にして、この地域を支える人材養成の学校として発展していきたいと考えます。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。





天気にも恵まれマレットゴルフ日和 プレー中も笑顔がこぼれる

木立に響く稲穂会

同窓会副会長 城田 美津子(高15回卒)

稲穂会のマレットゴルフ大会も十回目を開催することが出来ました。六月二十日(土)清流苑にて、四十七名の会員様出席のもと、天気にも恵まれ各チーム熱が入って来ると大きな歓声が木立の中に響きあい童心に帰りこち良い時を過ごすことが出来ました。昼食のあとの表彰式では、いつも優勝旗を手にするIさん。プロです。

第二十四回大会を振り返り

事務局長 山田 正明(高24回卒)

二月の総会には学校長遠山先生のお話をお聞きすることが出来ました。在校生の今をユーモアと賞賛をこめて話していただき、地域で模範となる後輩であることに誇りを持ちます。先生方の日々の御指導に感謝です。最後になりましたが、二十七年、二十八年年度の部長さんは、井上良恵さん(16回卒)になりました。今まで以上に御協力下さいませよう、よろしく御願います。事務局の先生方にもいつもお骨折りいただき感謝しております。これからもよろしく御願います。

謝しております。これからよりよく御願います。おわりには、この大会が今後も盛大に続きます様、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



スタート前の始球式

恒例のチャリティーの協力を参加者全員から頂き今回も母校の後輩達へ二十万余りのチャリティー金を贈呈する事が出来ました。ご理解とご協力ありがとうございました。

シヨートホール(七番)でワンオンされた方には記念品のお渡しをしました。距離のあるホールで少々難しかったです。

表彰式、懇親会も盛大に行われました。岩崎同窓会長、遠山学校長、来賓の木下様(木下工務店会長満九十歳)からご挨拶をいただきました。又、賞品提供で

下農同窓会親善ゴルフ大会成績

支会対抗の部

- 優勝 竜丘支会
- 準優勝 上郷支会
- 3位 市田支会
- 4位 松川支会
- 5位 神稲支会



個人の部 (敬称略)

- | | | |
|-----|-------|-------|
| 優勝 | 下平 吾郎 | 竜丘支会 |
| 準優勝 | 中島 康 | 竜丘支会 |
| 3位 | 寺沢 誠 | 山吹支会 |
| 4位 | 秋城 弓子 | 市田支会 |
| 5位 | 牧野 賢治 | 座光寺支会 |
| 6位 | 宮下 光一 | 大島支会 |
| 7位 | 宮島 和男 | 下條支会 |
| 8位 | 矢澤 克彦 | 座光寺支会 |
| 9位 | 松村富士夫 | 売木支会 |
| 10位 | 岡島 正人 | 上郷支会 |

2015年(平成27年)10月3日 土曜日

第三十八回同窓会を開催して

壬生 雅 穂 (高38回卒)

七月十一日、飯田市シルクホテルにおいて、下伊那農業高校全日制を昭和六十年度に卒業した(高三十八回卒)全クラス同窓会が開かれました。

約二百人の卒業生のうち八十人ほどが参加しました。

まず物故者八名(教師二名、生徒六名)に黙祷。学年主任だった六波羅悟先生の挨拶、当時教わり

の同窓会の実行委員会が立ち上がったのは一年以上前のこと。何度も打ち合わせを行い、この日を迎えました。

卒業してちょうど三十年。今まで同窓会をしてきたクラスはほとんどなく、どのくらい人数が集まるか不安でした。しかしフタを開けてみれば、

現在の下農で教鞭をとられる北原千歳先生、小沢健先生、吉村洋一先生からのビデオメッセージがあり、米寿になられた「エンマ」こと大平利和先生の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。

二十代、三十代と人生を左右する様々な荒波をくぐり、四十八歳の歳男・歳女となる同窓生たち。さすがに「誰だっけ？」という人もいましたが、下農時代の内容の濃い三年間の思い出話をするうちにすつかり打ち解け、旧交を温めました。

大きな声で笑って話す仲間たち。それぞれ家庭を持つたり、要職に就いて部下を抱えたりしている彼ら、彼女らは、おそらく生活のシーンでそのような姿を見せることはないでしょう。高校生活の思い出というの長い年月を忘れさせ、いつでも当時に戻れるほど強い印象を残すものによります。

一回会閉会の際には、

卒業してちょうど三十年。今まで同窓会をしてきたクラスはほとんどなく、どのくらい人数が集まるか不安でした。しかしフタを開けてみれば、

卒業してちょうど三十年。今まで同窓会をしてきたクラスはほとんどなく、どのくらい人数が集まるか不安でした。しかしフタを開けてみれば、

卒業してちょうど三十年。今まで同窓会をしてきたクラスはほとんどなく、どのくらい人数が集まるか不安でした。しかしフタを開けてみれば、

卒業してちょうど三十年。今まで同窓会をしてきたクラスはほとんどなく、どのくらい人数が集まるか不安でした。しかしフタを開けてみれば、

卒業してちょうど三十年。今まで同窓会をしてきたクラスはほとんどなく、どのくらい人数が集まるか不安でした。しかしフタを開けてみれば、

卒業してちょうど三十年。今まで同窓会をしてきたクラスはほとんどなく、どのくらい人数が集まるか不安でした。しかしフタを開けてみれば、

われら同級生

下伊那農業高校 11,12,13回卒業生有志



ポイズ・ピー・アンピ シヤスの思い出を胸に

卒業有志が帰る。上経っているが、車の乾草、あるため自己中で、卒業生が帰る。...

卒業有志が帰る。上経っているが、車の乾草、あるため自己中で、卒業生が帰る。...

卒業有志が帰る。上経っているが、車の乾草、あるため自己中で、卒業生が帰る。...

卒業有志が帰る。上経っているが、車の乾草、あるため自己中で、卒業生が帰る。...



下伊那農業高等学校 昭和60年度卒業 30周年同窓会 平成27年7月11日 -シルクホテル-



10/3(土)南信州(10面)われら同級生記事より許諾を得て掲載 下伊那農業高校11,12,13回卒業生有志

平成27年度の 支会総会開催状況

事務局が把握しております支会活動状況をお知らせします。支会によりましてはマレットゴルフ大会などを総会時に開催し、より多くの会員の参加に工夫をこらす支会も数多くあります。

- 鼎支会 総会 二月二十七日(金)
- 市役所支会 総会 三月十六日(月)
- 松尾支会 総会 三月十九日(木)
- 座光寺支会 総会 三月二十九日(日)
- 下久堅支会 総会 六月六日(土)
- 伊賀良支会 総会 六月十二日(金)
- 東京支会 総会 六月十三日(土)
- 神稲支会 総会 七月十八日(土)
- 上郷支会 総会 七月二十日(月)
- 喬木支会 総会 十一月二十三日(月)

事務局には、支会担当の校内幹事があります。支会よりの要望等がありましたらお寄せください。

マルマン株式会社

社長 林 隆 仁(高24回卒)



農の学び

伝統ある稲丘時報の紙面に名前を刻む事となりました事、関係者の皆様に御礼申し上げます。

「産業界で活躍する卒業生」と言うテーマを頂きましたが、活躍などと申し上げるには少しばかり恥ずかしいところが御座いますので、入社から今日までの出来事の中から下農で学んだ事が私の仕事に大きな力となった事をお話したいと考えます。

私は現在マルマン株式会社の社長をしております。味噌を中心とした発酵食品の製造販売を行っており東京、大阪はもとより全国の大手スーパー様を始めとする日本全国のスーパー様とお取引させて頂いております。まず私どもマルマンの歴史を少しお話させて頂きますと、創業百二十七年の歴史ある会社で「中田式味噌速醸法」の味噌製造特許

を開発した会社で、戦前は家内工業的であったみそ造りを近代工業化へ、一大産業革命へと大きく変遷させた会社であります。この様な事から同業者、お取引先様から技術のマルマンと称され数々の技術開発により商品を提供してまいりました。この中で二十年ほど前に中国への進出を決め、製造の責任者の立場から中国での技術指導の命を受け現地に単身赴き製造会社の設立と味噌製造技術指導を行ってまいりました。

中国と聞くと安価な商品作りをイメージされる事と思いますが、弊社は逆に高付加価値商品の製造に取り組みました。この事が現在も取引が継続し、合弁会社は今日中国東北部では有数の食品会社へと発展しております。

ここで言います高付加価値商品とは日本国内では大変難しい栽培である有機、無農薬栽培の大豆と米を栽培して「有機無農薬みそ」の製造であります。

日本は高温多湿の気候で大量の有機大豆、有機米の栽培は非常に難しいと判断し、中国の乾燥した大地に

着目し有機栽培に挑戦しました。現在「有機JAS」の認証を取得した大豆と米の栽培を行い、現地で仕込んだ半製品を日本に輸入し発酵、熟成をした後「有機JASみそ」として販売させて頂いております。この様な原料から味噌の製造、販売までの一貫した「有機製造プロセス」を構築しているのは業界の中でも弊社だけと自負しているところでもあります。

で活躍

最後にこの紙面をご覧頂く在校生、卒業から数年の卒業生の皆さんに申し上げたいのは普通高校の授業ではくましろ

神稲建設株式会社

社長 福澤 栄 夫(高23回卒)



私は高23回卒松川町出身の福澤栄夫と申します。

この度産業界で活躍する本校卒業生に選出され大変に恐縮している次第でございますが、そもそも一建設業者の社長が選出されたのは当社神稲建設が長野県内にも珍しく会社発足以来世襲性でない事即ち社長の親族は入社出来ない事になっており、代々継いで私で丁度十代目となり社員数二百名年商で百二十億円飯伊で二番県下では十位以内を保持し続けております。会社概要ですが本社は飯田市主税町、事業センター並びにくましろホール等が高森町に、くましろグリーン並びに子会社としてアグリスタくましろ、くましろプランニングが豊丘村にあり支店として東京、名古屋、浜松、長野、中信木曾にあり、営業所として十五ヶ

絶対に体験できない授業が体験できている事を自分の財産と受け止め今後の活躍を期待したいと思っております。

所、海外子会社としてスリランカ共和国にランカ・クマシロという会社がありそれぞれの立場で目標に対しての売り上げを計上しております。当社発足の由来を申し上げますと昭和二十四年に建設業法が施行され、時の神稲村の村長が我が村にも建設業者が欲しいという願望に時の区長及び天竜川堤防総代の参集により、神稲森林組合が行っていた土木・建築部門を分離独立させ有限会社「神稲組」を設立し当初は村長自らが社長という不合理な形態をもって発足し、この会社は誰の物でもなくここに働く皆の会社であり利益が出れば常に貯蓄をし将来の為に残すという当時から資金面では磐石な会社を作り現在に至っております。私は高校を卒業し日本大学農獣医学部林学科緑地砂防工学を専攻し主に森林土木を学び帰郷しましたが就活に出遅れ地元建設業者等でお世話になりましたので二十五歳の時でした。その頃は四十人足らずの

会社でしたが一番驚いた事が建設業者でありながら労働組合があり毎年五月一日にはメーデーに参加したり珍しい会社だと思ったりでございます。現在では社員会として若者のやすらぎの会となっております。最後に私のごよまでの歩みですが最初は土木の現場代理人を二年間経験させてもらい二歳と三歳の娘を残し妻が病気で三十歳の若さで世界し両親と三人で娘達を育てその娘達が小学校二年と三年になった時木曾支店長を命ぜられ当時は土帰月来でしたので娘達には淋しい生活だったと思われま。木曾支店長を十七年間お世話になり本社に帰ればいきなり常務取締役営業本部長に任命され二年経った頃取締役副社長、その後代表取締役社長になり今年で五年が経過致しました。今想えば民間企業ゆえに営利を目的としてその実績が認められた事だと思っておりますが現業、営業、支店長として三十八年間会社の為ばかりを考え早くに先立たれた妻を想えば怖い者知らずで仕事に向かった経過が現在の立場かと感じる次第でございます。建設業者として今後のリニア新幹線工事に期待をしまだまだ先を指す所存でございます。

飯田信用金庫

理事長 森山 和幸 (高18回卒)



地域の発展を願って

私は、昭和四十一年三月の高校卒業と同時に現在の勤務先である飯田信用金庫に就職しましたが、この三月には卒業後五十年を迎える年齢となり、歳月の流れの早さを改めて感じる今日この頃です。

信用金庫は中小企業と個人を対象とする共同組織の金融機関ですが、飯田信用金庫は飯田下伊那地域に唯一本店を置く金融機関でもあります。「金融を通じて地域社会の発展に貢献することを経営理念として大正十四年に創立されました。昨年九月には創立九十周年を迎えましたが、その中で五十年間勤務できたことに感慨深いものがあります。この五十年間を振り返ってみると、就職当初は、農業科の卒業のため、当然、経済や金融の知識もありません。その上当時は現在のようにコンピューターもありませ

せんので、計算はすべてローパンですし、帳簿類も簿記の知識がないとできないため大変苦労した記憶があります。又、金融業界で働く先輩卒業生は極めて少なく、職場で肩身の狭い思いをしたこともありました。

そんな私でしたが、今から二十年ほど前、同窓会の親善ゴルフ大会の竜丘地区幹事を先輩から受け継いだことにより、幹事会等への出席を通じて地域で活躍している多くの卒業生がおられることを知ることになりました。以来、支店長として転勤で職場を移動しても地域の中で先輩、後輩とのかわりを多く持つことができ、現在の自分の大きな財産となっておりま。同窓会同窓生の絆の強さを改めて感じております。

仕事上職員の採用活動や採用面接なども担当する機会がありました。この地域には大学等がありませんので進学する生徒の殆どは郷里を離れなくてはなりません。そして卒業後はその多くが都会で就職してしまい、最近では生まれ育ったこの地域に戻って就職する人はせいぜい二割から三割程度

産業界



木下工業株式会社 キノシタ開発株式会社

社長 木下 長志 (旧20回卒)

を担っていく世代として大きな期待をしています。私たちが共に地域の発展の為にとどまっています。大企業は少なく希望する職種や職場が少ないこともありませんが、子弟の教育に大きな投資(教育費)をして都会に優秀な人材を提供しているのがこの地域の実態であり、少子化、高齢化が進む中で地域の将来を考えると大変残念なことといえます。

この地域には近い将来リニア中央新幹線の長野県駅ができます。また太平洋と日本海をつなぐ道路網である三遠南信自動車道もでき、開通後は日本の中心になる地域、そして世界に向けた玄関口になることさえ可能な地域ともいえます。

もう一度、伝統芸能、豊かな自然環境や観光資源など地域の豊富な資源と良さを見つめ直し国内はもちろん、世界に向けて情報発信していくことが求められています。在校生の皆さんにはこれからの飯田下伊那

ともに頑張っていきたいと思います。

んと私で、一番の年長でしたので、代表として、天皇陛下に御礼を申し上げます。木下工務店も厳しい中、何とか切抜いてきましたが、元々ふる里飯田がなにより好きなこと、一人っ子でありましたので、昔から続く自宅を、守らなくてはならない、の思いが強かったので、木下工務店を譲り、ふる里飯田に帰って来りました。飯田には木下工業、キノシタ開発の二社を持つていまして、飯田の発展のために力を盡くそうと考えております。また東京にも小さい会社ですが、三社を持つておりますので、月二回上京して運営しております。三社共住宅関係の会社です。この様なことで、東京の業者とはよく会うのですが、リニア駅の出来るこの飯田が、非常に注目されております。

六月十日に私が初代理事長をいたしました。住宅建設産業協会の年次総会がありました。全国から二千人近くの社長たちと、政治家も多数来場されましたが、初親会は大盛況でしたが、初

代理事長のこの私が、九十歳過ぎたのにこの元気でですから、皆びっくりしてしました。そこで私が云うのですが、リニア駅が出来る飯田こそ、空気が良い、水がおいしい、眺めが良い、飯田に住めば私の様に元気になるんだ、東京から四十分、いずれ大阪迄も五十分の処になるんだ、老後こそ住む処飯田ですよ、長生きしたかったら、飯田に生まれませんか、盛んに云っております。東京、大阪、名古屋の社長達も非常に関心を持っておりまして、一昨年度ですが、上場会社の社長達を十余人呼びまして、飯田を案内しました。皆改めて飯田を見直してくれました。飯田こそリニアを活用して、又別荘地としても、長生き出来る処だとして、大いに活用出来る処と考えております。飯田発展の為にこそ、東京、名古屋、大阪から人を呼び込みたい。人を集めたい、ふる里飯田のために、ふる里飯田のためになります。私は九十歳を過ぎましたが、五十歳から健康のために毎日運動していたこと、仕事が好きで、常に自分の夢に向かって突き進む、この気持ちこそ一番大切なことです。どうか皆さんも、リニア駅が出来る飯田に、非常に注目して戴きたい、これを活かして、飯田をより元気にしましょう、力を注ぎましょう。

女子柔道 全国・北信越大会出場

柔道班顧問 菊 原文 典

下農には柔道経験者の顧問はおらず、柔道場には畳もないという環境の中、全国・北信越大会出場と快挙を成し遂げてくれました。

三月二十日に東京の日本武道館で開かれた第三十七回全国高等学校柔道選手権大会に、本校柔道班萩原明里さん(現三年生)が出場しました。萩原さんは、一月



下農女子柔道班

十日に県の予選会にて決勝戦で強豪・松商学園の選手を僅差で破り、全国大会出場への切符を手にしました。全国大会前日、練習と計量会場である「講道館」に行きましたが、八階建ての建物に、各階柔道場が完備され規模の大きさに驚きを感じつつ、講道館で練習が出来るといふ喜びをかみしめな

がら練習を行いました。大会当日、柔道家にとつて聖地と言われる「日本武道館」にて大会が行われました。対戦相手は東北チャンピオンの選手で、お互いに技が決まらず、指導を与えられ試合終了のブザーが鳴ってしまい、指導一つの差で優勢負けとなってしまいました。試合内容、その後の試合を見ていて、全国のレベルは高いと思っていました。下農女子柔道班選手達とさほど変わりないと感じ、今まで取り組んできた練習が間違いではないんだと感じました。

六月二十・二十一日に石川県で開催された、北信越高等学校柔道大会に、山下詩乃さん(現三年生)が出場しました。山下さんは県大会で準優勝し、北信越大会への出場を果たしました。

大会初日は二回戦からの登場で、富山県の選手に勝ち、二日目へと進めました。三回戦は石川県の選手と対戦し、試合内容としてリードしてはいるが、最後に逆転され負けてしまいました。力的に勝っていながらも少しの差で負けてしまったという感じでした。やはり下農の柔道は、他県の強豪校の選手とやっても互角に戦えるのだと感じました。

下農柔道班の活躍の陰には、外部指導者として正式に柔道の指導をお願いし五年目となった、本校OBの原和男氏(高三十七回林業科卒)の存在があります。週に一〜二回下農の道場で練習を見て下さり、週三回自分の教える柔道教室に高校生を参加させてもらいながら強化してくれています。

また、多くの指導者から助言をしていただきながら生徒達は、学校での恵まれない環境の中、頑張つて活動しています。こういった、同窓生の母校生徒達を思う気持ちと、応援して頂いている指導者の皆様・地域の皆様に感謝し、今後積み重

ねてきた下農の伝統を絶やさぬよう、益々活躍できるようにと思います。

全国大会に出場して

アグリサービスク3年 萩原明里

三月二十日に、日本武道館で行われた全国大会に出場しました。全国を目標に練習してきたので、出場が決まった時は、とても嬉しかったです。

全国大会までの練習は、きつい練習が多く、気持ちが折れそうになることが何度もありました。でも、そんな時、仲間が励ましてくれました。全国大会の前日練習の時も、緊張やプレッシャーで、気持ち的に不安定になっていたときも、仲間がリラククスさせようとしてくれました。そして、全国大会当日、



萩原明里さん

の活躍

ボクシング同好会 インターハイ参加

農業機械科3年 後藤 悠 二

私は兄に憧れてボクシングを始めました。幼い頃から兄の背中を追いかけていました。

中学二年のとき初めてボクシングジムへ見学に行きました。そこでは鏡に向かってシャドーをしている兄の姿がありました。その他縄跳び、サンドバック、ミット打ちなど汗を流し一生懸命取り組んでいる兄を見て「僕もやりたい」と、決意しました。自宅に帰り両親に伝えると、すでに他の競技にも取り組んでいた私に最初は反対でしたが「今、取り組んでいる競技、学習をしっかり取り組むなら二

と許され、その秋からジムに通うことになりました。高校に入学し一年の春と秋の大会では二位という結果で終わり、更に練習を積み重ねて挑んだ二年の大会でも二位という結果しか残せませんでした。ここからは自分との戦いでした。何キロもの減量を行い、厳しい練習の毎日でした。インターハイの切符を掴んでからは全国との差を縮めるため更に練習を重ねました。

喜びと緊張で向かえたインターハイ当日。対戦相手は秋田の三年生。会場で身体を温めているとき、ふと鏡に映った自分の姿を見て



試合前、兵庫県立総合体育館にて

「兄に近づけたかなと、苦しい練習を振り返りながら、気がつくといつになりに上がっていました。結果は判定負けでしたが悔いはありませんでした。初めての大会で全力を出しきれたと感じています。」

ボクシングを通じ学んだ事は沢山あります。この事は私の今後に大いに生かされると思います。生かさないといけないと思います。練習を支えてくれた家族、ジムの皆さん、学校代表で参加を認めていただいた事、全てに感謝します。

運動班

北信越剣道大会に出場して

園芸クリエイト科2年 齊藤 亜未香

私は五月に開催された剣道南信大会女子個人戦で優勝し、県大会に出場しました。南信大会で優勝したことを剣道班の仲間もすごく喜んでくれ、稽古にも更に入りました。

県大会では北信越大会への出場権を得られるベスト8を目標に挑みました。試合が近づくと緊張が増していききました。この緊張感を力に変えながら戦うことができました。一回戦、初戦という大事な試合でしたが相手の動きも見ながら焦らずに時間をかけて戦い、相手の隙を見つけて一本決め



北信越大会会場にて

決め、この瞬間に北信越大会の出場が決まりました。次の準々決勝では負けてしまいました。すぐに気持ちを切りかえて毎日の稽古に励みました。六月に富山県で北信越大会が行われました。私の初戦の相手は、全国大会でも

勝ち進んでいく強豪校の人でした。私は自分の剣道を相手にぶつける気持ちで戦いました。結果は、延長戦で私が油断した所を打たれて負けてしまいました。しかし、この北信越大会で剣道ができたこと、全国レベルの人達の剣道を間近で体験できたことは、私にとって貴重な経験になりました。夏の大会が終わる新チームとして挑んだ新人戦では、女子個人・団体ともに県大会に出場しました。個人戦では、出場した三選手全員が初戦を突破しました。また団体戦では、メンバーが一人足りない不利な状況の中でベスト16に入り選抜予選会への出場権を得ることができ、これはチームとしてもすごく自信になりました。四月には、新一年生を迎えて最後の大会となります。新人戦で悔しい思いをした分全てをぶつけます。女子の主将としてチームをまとめ団体戦・個人戦ともに全国大会出場を目標に頑張ります。昨年からの指導いただき本島先生(高58)に加え、四月からは吉村先生(高25)にご指導をいただいています。二人の先生方、一緒に稽古をしている仲間に感謝の気持ちを忘れずに、目標に向かって毎日稽古に励みたいと思います。

吹奏楽班 二年連続東海大会出場

吹奏楽班顧問 征 矢 紗代子

夏のコンクール県大会におきましては、金賞を頂き二年連続で県代表・東海大会への出場権を得ることができました。このような結果を頂くことができましたのは、日頃より温かいご支援ご声援くださった同窓会

の皆様、地域の方々や校内の多くの方のお力添えのおかげだと、本当に感謝しています。この、夏の大会は大編成の部と小編成の部があり、班員が三十人以下の私たちは小編成の部に出場しまし

た。小編成は課題曲がなく、七分以内の自由曲を演奏します。たった七分間という本番の為に、四月から四ヶ月以上もかけてその一曲に取り組みました。生徒達は何度も涙を流しながら必死に頑張りました。がむしろにチャレンジし続ける姿には熱いものがこみ上げてくることもありました。しかし、うまくいくことばかりではなく、なかなか前に進めなくなったりも多かったです。そんな時は、「失敗してもいいから自分達で考え、何でもやってみる」ということを大切に、常に主体的な班活動を心掛けました。自分自身はどうしたいのか、そのためにどのような努力が必要で、今何をすべきなのか。一人一人が考えることによって、集団としての意識も高まり、心を一つに演奏するという



県大会演奏後の記念撮影

ことにも繋がられたのだと思います。私たちは本当に周りの方々に支えられています。最近では、地域のイベントにて演奏する機会を多く頂き、校内での演奏会があると、それを楽しみに聞きに来てくれる下農生がとも増えました。このようなことは

夏の大会を終えて

吹奏楽班班長3年 古川 友

私達吹奏楽班は、二十五名の班員と先生方三名で活動してきました。今年、「発揮・発進・発展」を目標にし、夏の大会では、「県一位・東海金賞」を目指し活動してきました。今年も昨年よりも人数が少ない上、技術の問われる曲に挑戦しました。そのため、基礎練習を見直し、一人一人の音量を上げる所から練習しました。初めは、音量を出すのに必死でただ大きくて雑な音でしたが、練習していくうちに、まとまりが生まれ迫力のある音が出せるようになってきました。また、皆で曲の物語を作り上げることと表現力のある演奏ができるようになってきました。

そして県大会当日、「絶対、東海大会に行くんだ！」という強い気持ちで挑みまし。本番では、今まで積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮することができ、金賞を頂き東海大会に出場することができました。ですが目標にしていた一位には届かず悔しい思いをしたので、東海大会では金賞を受賞できるように短い練習時間の中で、精一杯練習しました。

そして東海大会では、出場校のうち一番少ない人数でしたが、長野県の代表として堂々と演奏することができました。結果は銀賞でした。目標の金賞には届きませんが、この夏一生懸命練習してきた成果を発揮できた演奏に悔いはありません。今まで応援してくださった皆さん本当にありがとうございました。

そして県大会当日、「絶対、東海大会に行くんだ！」という強い気持ちで挑みまし。本番では、今まで積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮することができ、金賞を頂き東海大会に出場することができました。ですが目標にしていた一位には届かず悔しい思いをしたので、東海大会では金賞を受賞できるように短い練習時間の中で、精一杯練習しました。



東海大会出場後、音楽室での記念撮影

第25回全国産業教育フェア三重大会 全国高校生フラワーアレンジメント大会銀賞

草花班顧問 小澤直子

「どんな作品をつくるつもりだろう」アリーナ席で競技の様子をみる私は、見たいような見たくないような、そんな気持ちで競技を見守りました。

花器と花材がある程度事前に公開されていた昨年度と異なり、今年は「サブライズ方式」で、花器も花材も、当日出場者だけに伝えられました。出場者が、机下に置いてある花器を取り

出すのが見えた瞬間、私は大きな衝撃を受けました。当日出されたのは細長い二つの花器でした。実際にそのような器で練習したことは正直一回もなく、「まあ、高校生相手にそんな難しい器は出さないだろう」という想定で練習していた自分の考えの甘さを猛烈に反省し、高校野球等で「わたしの采配ミスです」という監督のインタビューが頭に浮

かび、まさにこういうことか…と思いつながら、私ならどう作るか冷静に考えようと思いました。まずは器にあった花の挿し方をするということでした。これについては説明もし、いくら練習もしたので、今まで練習してきた形をゴリ押ししないことを祈りました。続いて二つある器の使い方です。二つの配置、関連付けができるかが審査に影響すると思われました。遠目で見ると、葉をつかってなにか工夫しているように見えたので少しほっとしました。とはいえ、もし自分だったらどうするか、必死に考えましたが、正直動揺の方が大きく、これという名案はすぐに浮かびませんでした。



県大会にて優秀賞を受賞(上伊那農業高校開催)

競技会場から出てきて昼食。涙目の本人に申し訳なさいっぱいで、その後の審査結果発表に望みました。結果は六十五人中の二位での銀賞。正面から作品をみて、基本的な花の使い方に加え押さえるべきポイントがきちんとできていることがわかりました。今回の大会は、高校生にとっては非常にレベルの高いもので、付け焼刃では太刀打ちでき

なかったと思います。なにがどう結果につながったかと言われると、彼女の普段の生活態度や、アレンジに向かう姿勢などの全般が大変素晴らしかったからとい

うことに尽きると思います。何気ない一つ一つのアドバイスや、与えられた機会、それに対する自分の行動が、当日、自分の力となって発揮できたのだと思います。

全国大会に出場して

園芸クリエイト科2年 後藤 萌

私は、今年初めて全国産業教育フェア高校生フラワーアレンジメントコンテストに出場させていただきまし

た。幼い頃から花が好きで、花について勉強したいという思いで下農に入学し、二年生になった今年六月から本格的にアレンジメント



第25回全国産業教育フェアにて(三重県)

を教えて頂きました。花について全く知らなかった私に、先生が基本から教えて下さり、大会前の練習からとても楽しく花と向き合うことができました。全国大会では、花器と花材と作品テーマが当日発表されるという、慣れない形式だったので、とても緊張しました。また、その当日発表された内容が予想して練習してきたものと全く違い、驚き、頭が真っ白になりました。一時間の競技時間もあつという間に過ぎ、今までと違う作品になってしまったことで制作終了後は不安でいっぱいでした。

しかし、どんなに焦って夢中で作品を作っている時でも、練習で先生に言われた事や見て心に残っていた他の作品などは忘れることなく、自然と自分自身の作品に生かすことができました。表彰式で、私の名前が呼ばれた時は、初めは信じられませんでした。とても嬉しかったです。こうして銀賞が頂けたのは、毎日遅くまで練習で教えて下さった先生、家でも送迎などで協力して応援してくれた家族、温かい言葉をかけてくれた友達のおかげです。本当にありがとうございます。

本校卒業生の 叙勲一覧

学校長 遠山 善治

功績が讃えられ内閣府より叙勲受章された同窓生を紹介いたします。事務局の不手際で紹介が遅れたことをお詫びいたします(敬称略)

平成二十二年春

瑞宝小綬章

牧島忠司 (消防功労) (高10回卒)

平成二十四年春

旭日双光章

吉川 達郎 (地方自治功労) (高13回卒)

瑞宝小綬章

中平 勝 (消防功労) (高12回卒)

瑞宝单光章

熊谷 昌芳 (統計調査功労) (高12回卒)

平成二十六年秋

瑞宝双光章

矢崎 文勇 (消防功労) (高17回卒)

(高17回卒)

各種大会で活躍する下農生

第六十六回日本学校農業クラブ 全国大会意見発表優秀賞

アグリサービスク2年 藤 下 拳 成

農ク全国大会に出場して



私は、今年群馬県で開催された第六十六回日本学校農業クラブ全国大会意見発表会に出場しました。私は、春休みの課題を書く時に、担任の先生に言われた言葉を今でも覚えていいます。その言葉は「藤下は遠山のことを五枚書いてこい」というのでした。私は、なんで五枚も...と思いましたが、いざ書いてみると思っていた以上にすらすくことができ、あつというまに五枚目でした。そして、校内選考会では全校の前で発表しなければならぬ恥ずかしさと緊張で手足がとても震えました。そんな校内選考会を勝ち上がり、県大会では最優秀賞、その次の北信越大会でも最優秀賞をとるこ



とができました。春休みに書いた意見文は、各種大会を乗り越え、ついに農業クラブ全国大会のステージまでできました。練習はともぎついででした。SHRが終わればすぐに読み込み練習。抑揚をつけたり、強弱をつけたりしました。時には練習がとても嫌で逃げ出したくなりました。しかし私を応援してくれる人がいたから最後までやり抜くことができました。全国大会ではプレッシャーと緊張からペースが早くなってしまいました。とて素晴らしい経験ができました。ありがとうございました。

県国際教育研究協議会主催 第三十五回英語弁論大会 県予選会最優秀賞

アグリサービスク2年 熊谷 美咲

『ターニングポイント』

昨年度の二月、私は生まれて初めてフイリピンへ行きました。滞在したのは四日間。その短い期間の中で私はフイリピンの二つの顔を知っていました。元々、外国にとて興味があり、チャンスがあれば何処の国でもとにかく行きたいと思っていた時に、母からフイリピン医療ボランティアの話聞き、直ぐに参加を決めました。



前列左から2番目が熊谷美咲さん

会務報告

同窓会幹事長
横前 元 (高23回卒)



会員の皆様方には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

五月二十三日にも同窓会理事・代議員会が開催され、平成二十六年事業・決算報告をはじめ、平成二十七年事業計画・予算案が承認され、正式に事業がスタートしました。お陰様で順調に諸事業を終了し、まとめの時期を迎えております。

本年度役員の変更がありました。同窓会副会長として永きにわたりお務めを頂きました坂巻京子さんが退任され、新たに城田美津子さんが就任されました。同窓会、殊に女子部の活性化にご尽力頂きましたことにお礼を申し上げ、労をねぎらうと共に感謝申し上げます。

平成二十六年度同窓会代議員会にて賛成多数により議決された「創立100周年記念事業」につきましても、実行委員会の組織化と事業内容の具体化が本年度進められました。事業名を「長野

県下伊那農業高等学校創立百周年記念事業」、主催は同窓会(三十四名)・PTA(十七名)・学校(二十四名)の三者が一体となった「長野県下伊那農業高等学校創立百周年記念事業実行委員会」と正式に決定しました。
実行委員会は、「総務部」・「資金部」・「事業部」・「記念誌部」・「母校の将来を考える会」の各部とし、実行委員長には岩崎和男同窓会長が就任いたしました。

事業内容は
一 農業学習施設建設
一 学習環境整備
一 記念誌発行
一 記念式典・祝賀会
であります。

本年度、すでに実行委員会を二回、部会を一回開催し、今後に向けております。

今後の予定につきましては、支会長会を来春に開催し、本事業の趣旨・内容をご説明し、その後各支会を通じて皆様方に周知させて頂き、「理解」と「協力」をいただきたいと考えております。まだ緒に就いたばかりであり、より具体的な企画立案を進め、皆様方に報告をして参りたいと思っております。

会員の皆様方におかれましても、百周年記念事業に向け、あわせて母校発展のためにより一層のご支援を賜りたくよろしく願います。

平成26年度 決算書

平成27年 5月23日 提案承認
平成27年 5月23日

- 1 歳入総額 2,789,199円
- 2 歳出総額 1,668,145円
- 3 差引残額 1,121,054円

1歳入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額			収入済額	比較増減	備 考
	当初予算額	流用	計			
入 会 金	1,288,000	0	1,288,000	1,288,000	0	8,000×161名
雑 収 入	256	0	256	145	▲111	利息、CD売上げ
繰 越 金	1,169,054	0	1,169,054	1,169,054	0	
終 身 会 費	310,000	0	310,000	310,000	0	2,000×155名
そ の 他	0	0	0	22,000	22,000	寄付、戻し入れ
合 計	2,767,310	0	2,767,310	2,789,199	21,889	

2歳出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額			支出済額	比較増減	備 考
	当初予算額	流用	計			
1 事務費	565,000	0	565,000	272,684	292,316	
1) 旅 費	135,000		135,000	19,495	115,505	支会総会等の旅費
2) 事 務 費	110,000		110,000	83,857	26,143	プリンターインク・ロール紙
3) 通 信 費	20,000		20,000	29,548	-9,548	郵送料・電話代
4) 消 耗 品 費	70,000		70,000	29,784	40,216	印刷用紙他
5) 負 担 金	30,000		30,000	24,000	6,000	地区同窓会負担金
6) 正副会長交際費	200,000		200,000	86,000	114,000	各種会議参加費等
2 会議費	260,000	0	260,000	162,793	97,207	
1) 役 員 会 費	30,000		30,000	6,468	23,532	監査会等
2) 代 議 員 会 費	170,000		170,000	104,222	65,778	代議員会
3) 幹 事 会 費	60,000		60,000	52,103	7,897	校内幹事会会議費
3 事業費	1,470,000	0	1,470,000	1,121,421	348,579	
1) 稲 穂 会 費	150,000		150,000	148,723	1,277	活動費・総会費
2) 事 業 推 進 費	370,000		370,000	199,164	170,836	支会総会の参加
3) 稲 丘 時 報 発 行 費	270,000		270,000	275,400	-5,400	稲丘時報発行費
4) 同 窓 会 林 管 理 費	10,000		10,000	0	10,000	同窓会林間伐等管理
5) 新 正 会 員 歡 迎 費	150,000		150,000	150,000	0	校歌等CD購入用積立て
6) 稲 丘 会 事 業 寄 付 金	200,000		200,000	200,000	0	(財) 稲丘会
7) 親 善 大 会 費	120,000		120,000	97,994	22,006	親善ゴルフ
8) 研 究 費	200,000		200,000	50,140	149,860	100周年事業
4 雑支出	226,000	0	226,000	95,247	130,753	
1) 慶 弔 費	120,000		120,000	57,247	62,753	祝儀・香典・弔電
2) 転 退 職 員 記 念 品 費	60,000		60,000	38,000	22,000	餞別
3) 雑 費	46,000		46,000	0	46,000	
5 予備費	246,310	0	246,310	16,000	230,310	
1) 予 備 費	246,310		246,310	16,000	230,310	
合 計	2,767,310	0	2,767,310	1,668,145	1,099,165	

平成26年度 会員の異動

同窓会員
二十七年三月卒業により正会員になった人 一五五名
二十七年四月入学により準会員になった人 一六〇名
正会員数 一八、二三九名
旧制 二、四八九名
高校 一五、七五〇名
男子 一〇、八〇六名
女子 四、九四四名

会員の訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

- 小林 清人 (旧二十七回) 遠山 池戸 義和 (高一回) 鼎 森田 恒雄 (高三回) 河野 伊坪 昭彦 (旧二十七回) 山本 山内 皓 (高六回) 山本 大島 源衛 (旧二十二回) 元大島 今村 真直 (旧二十二回) 川路 平田森之助 (高四回) 伊賀良 喬木

平成26年度卒業生(平成27年3月卒業)の進路状況

卒業生数		人数		比率		27.3.31現在					
						合計	アグリサービス	農業機械	園芸クリエイト	食品化学	
男子	73人	人数	比率	計	155	39	40	38	38		
女子	82人			男子	73	10	40	15	8		
合計	155人			女子	82	29	0	23	30		
就職者	男子 32人 女子 33人 小計 65人 比率 41.9%	管内	52	80%	男子	28	1	16	8	3	
		県内	4	6.2%	女子	24	7	0	9	8	
					計	1	0	1	0	0	
		県外	7	10.8%	男子	3	1	0	1	1	
					女子	2	0	2	0	0	
公務員	1	1.5%	男子	0	0	0	0	0			
自営	1	1.5%	女子	1	1	0	0	0			
進学者	男子 40人 女子 47人 小計 87人 比率 56.1%	四年制大学	14	16.1%	男子	10	2	4	1	3	
		短期大学	21	24.1%	女子	4	2	0	0	2	
					計	2	0	2	0	0	
		県農大等	4	4.6%	男子	19	11	0	3	5	
					女子	4	0	0	4	0	
専門	48	55.2%	男子	0	0	0	0	0			
未定	3人	3	2.0%	女子	24	6	15	1	2		
				計	24	8	0	8	8		
				男子	1	0	0	1	0		
				女子	2	0	0	1	1		

進路状況

平成26年度(平成27年3月卒業)

卒業生の進路状況

進路指導部長 吉川博英

今春の卒業生の進路状況です(別表参照)、まず就職については、卒業生百五十五名のうち就職者は六十五名。内訳は県内四名、県外七名で、後はすべて管内企業(自営も含む)へ就職しました。就職求人数に関しては、リーマンショック以前の数字にまで戻りつつありました。また、本校生徒の就職希望者数は

昨年より六名減少しました。しかし、人気のある企業に関しては、他校生との競合のため、厳しい状況は変わりませんでした。そんな中生徒たちは危機感を持って準備をし、試験に臨みました。その結果、年内にすべての就職予定者が内定をいただくことができました。公務員も一名が合格しました。一次以降

でうまくいかず残った生徒も、本校独自の高校就職指導サポートやハローワークとの連携を利用した粘り強い取り組みの結果、おのおのが希望する企業等へ向かうことができました。

進学については、前年より進学者希望者は増加して、六割弱でした。進学先・分野は多方面に

渡りましたが、今年は公立大学へも二名が合格しました。その他では、四年制大学が十二名、地元飯田女子短を含む短大が二十一名、県農業大学校等が四名、その他の専門学校が四十八名となりました。ほとんどの生徒が推薦入試(指定校推薦、AO入試、公募推薦)を利用して合

(株)信州名鉄運輸(株)飯田支店、信菱電機(株)、スーパーイン殿岡温泉湯～眠2、(株)タニガワ、多摩川エアロシステムズ(株)飯田事業所、多摩川航空電装機器(株)、多摩川マイクロテップ(株)、(株)中央サービス2、津貝屋製菓(有)、天恵製菓(株)、(株)ナガイ、(株)富士電機、プリチストンタイヤ長野販売飯田営業所、(株)マツザワ、丸西産業(株)やまやす中島農園、横井塗装、横浜ゴム(株)長野工場2、(株)ヨシカズ、綿半テクノス(株)

県内 ITX(株)、(株)カワチ薬品、長野オリンピックバス(株)2

県外 (株)ENEOSネット、近江鉄道(株)、自動車検査 独立行政法人、(株)デュエット、(株)源吉兆庵、医療法人横山デンタルクリニック、(株)ヨシズヤストア

進学 4年制大学

東京農業(応用化学)、修文(管理栄養学)、中部(経営学)、中京学院(理学療法)、東海(海洋生物学)、東京国際(経営学)、東京聖栄(食品学)、名古屋外国語(現代英語学)、名古屋経済2(管理栄養学・教育保育)、名古屋文理(健康栄養学)、日本福祉2(保健福祉学・リハビリテーション学)、酪農学園(准看護学類)

短期大学

岐阜市立女子(国際文化)、長野県(生活科学)、飯田女子12(家政5・幼児教育6・看護1)、修文(オフィスキャリア)、脩文(幼児教育学)、川口2(こども学2)、帝京(食物栄養)、中日本自動車(自動車工学)

農業大学校等

長野県農業大学校3(総合農学2・南信農業実科)、林業大学校

専修・専門学校

看護・医療11、調理・製菓9、自動車整備6、理美容3、福祉2、保育2、商業・事務11

就職 公務員

長野県警察

管内

(株)飯田パルスモ、飯田ボイラー(株)、(株)いとら、エヌティーツール(株)、(株)お菓子のシアワセドー、オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株)、かぶちゃんファーム(株)、佳芳みつ蜂、医療法人輝山会、協和精工(株)、(株)ケーター、(株)乾光精機製作所、KOA(株)、七久里の杜、コーケン香料(株)、小林製袋産業(株)2、(株)コボックス、近藤建装、佐渡工業(株)、シチズン時計マニュファクチャリング(株)2、柴田科学(株)、(株)JMC、(株)ジョイフル・テン、シルクホテル中田製絲

編集後記

稲丘時報第八十号が出来上がりました。多くの皆様から原稿を寄せて頂き、ありがとうございます。改めて感謝と御礼申し上げます。稲丘時報につきましては、時代の趨勢の中、近隣の学校の状況を踏まえ、デジタルデータでも公開を始めております。一年間の活動をまとめ、関係で冬場の発行にしまして、ご理解ご協力をいただければと思います。配布に関しても、関係の皆様には大変お手数を掛けしております。点検、降会員の訃報につきましては、紙面の関係で省かせていただく予定であります。(稲丘時報係)